

週刊誌に掲載された
いじめに関する記事の内容分析

- いじめ防止につながる報道のあり方について考える -

○ 藤原幸子, 吉備国際大学, 004526

メディア, いじめ報道, いじめ防止

研究目的

メディアは社会問題の実態を伝え、解決に向けての情報を提供するうえで大きな意味を持つ。メディアが社会に向けて放つ報道内容は、世論を作り出すと言われるほど大きな影響力を持っている。週刊誌記事の社会に対する影響力は非常に大きいと考えられる。週刊誌はいじめにどのような関心を向け、どのような影響を人々に与えていたのだろうか。

本研究の目的は、週刊誌からいじめ関連記事の内容を分析することにより、週刊誌報道の特性を明らかにし、いじめ防止につながる報道のあり方について考えることである。

研究の視点および方法

対象紙 : 週刊誌 6 誌.
週刊文春, 週刊新潮, 週刊現代, 週刊ポスト, 週刊朝日,
サンデー毎日.

対象期間 : 2014年 1 月 1 日 ~ 2019年12月31日.

対象記事 : 大宅壮一文庫の雑誌記事検索データベース Web OYA-bunko を用いた. 検索キーワードを「いじめ」とし, いじめ関連記事の抽出を行い, 抽出した記事を精査した. データベースの項目で 1 項目として取り上げられている場合は 1 件, 1 つの記事で 2 つの内容を取り上げている場合は 1 / 2 件として処理した.

研究の視点および方法

- 調査項目：1) いじめ関連記事数
2) 週刊誌名
3) 記事内容
4) ネットいじめ関連記事数
5) 一事例を繰り返し扱ったいじめ事件
6) 記事の専門性
7) 国外のいじめ関連記事数
8) いじめの体験談

倫理的配慮

本研究は「一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理規程」にのっとり、研究を実施した。

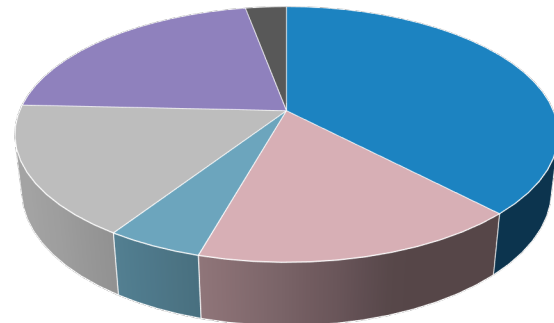
研究結果

調査期間中，週刊誌 6 誌に掲載されたいじめ関連記事，計 113 件。

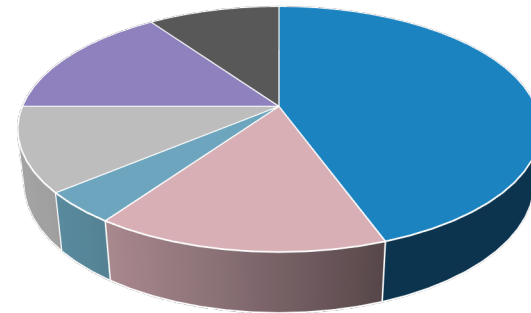
「いじめ」というキーワードは出てくるが，いじめを確認できない記事，ゴシップ記事などを除外し，最終的に分析可能となった記事数，計 72 件。

■ 週刊文春 ■ 週刊新潮 ■ 週刊現代 ■ 週刊ポスト ■ 週刊朝日 ■ サンデー毎日

抽出前

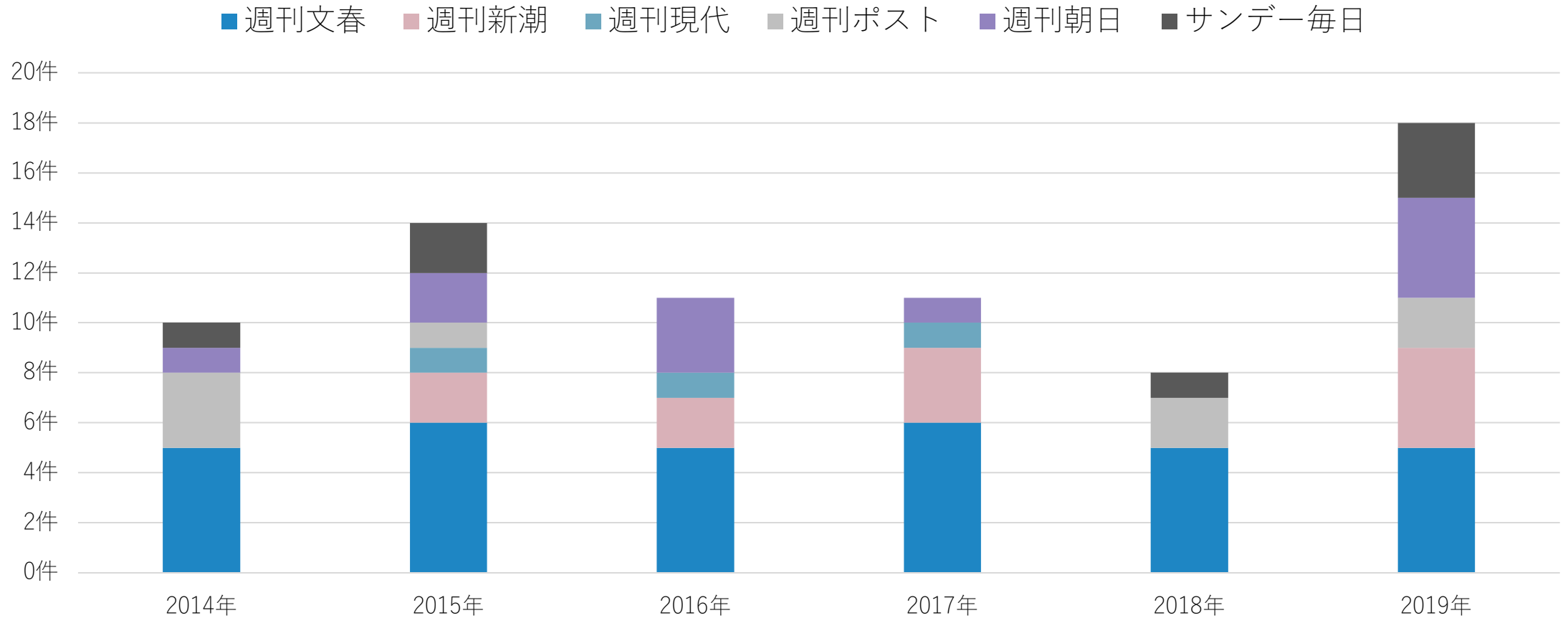


抽出後



研究結果

図1 いじめ関連記事の年別推移

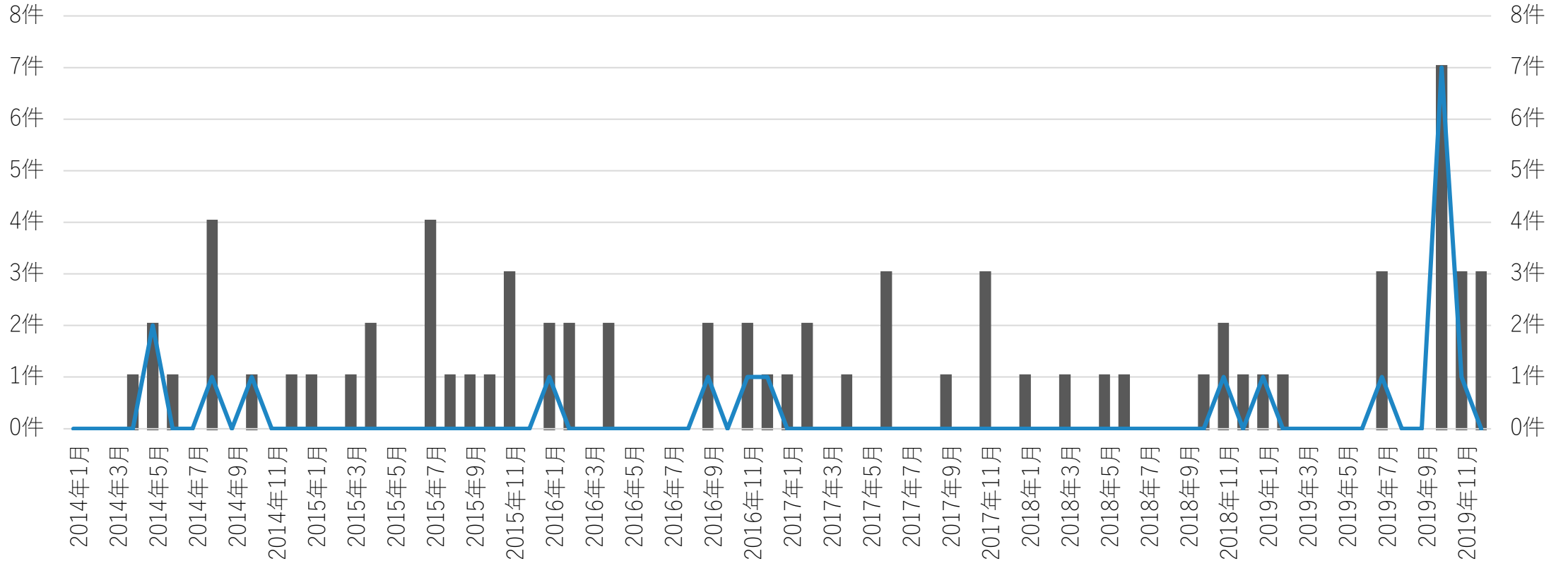


最も多かったのは2019年の18件，次いで2015年の14年．年平均，12.0件．

研究結果

図2 いじめ関連記事の月別推移

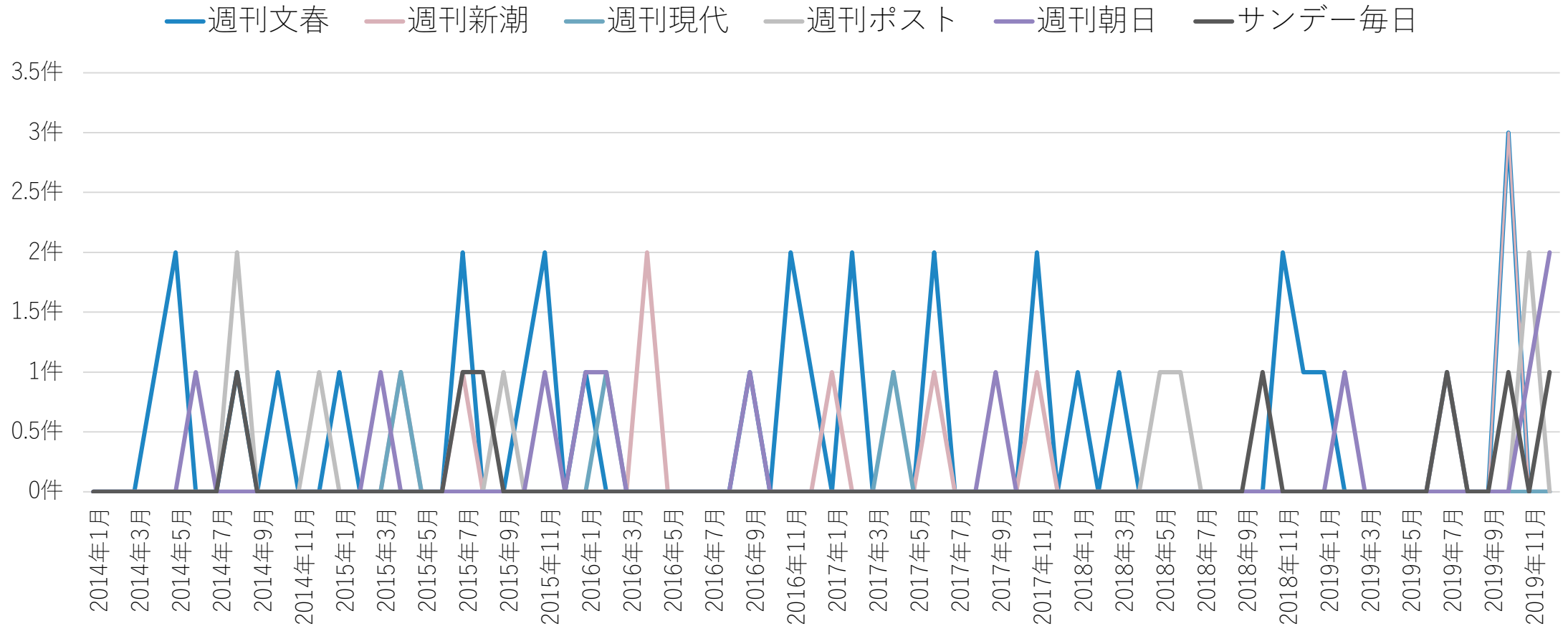
■ いじめ — ネットいじめ



毎月、0件から7件の範囲で報道。いじめ・ネットいじめ関連の記事件数、最多月は2019年10月（7件）。

研究結果

図3 いじめ関連記事の週刊誌別推移



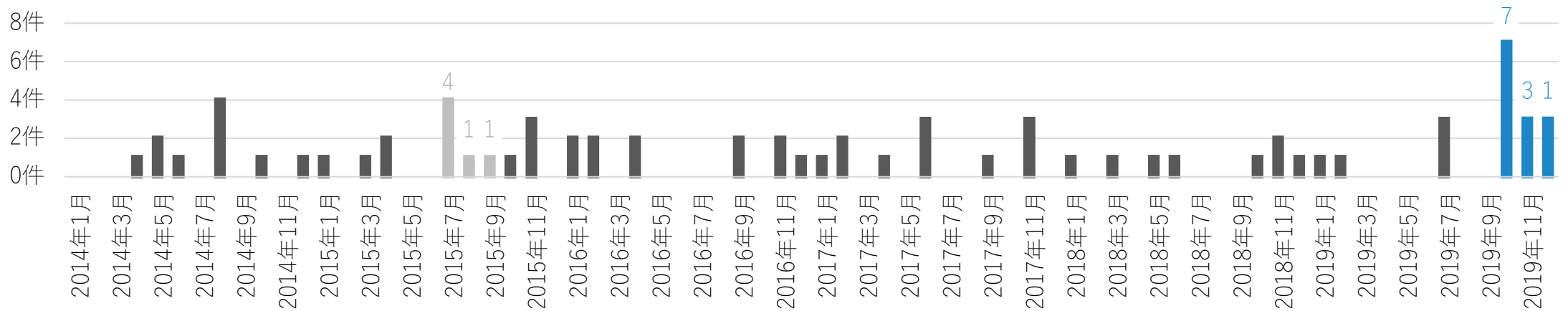
2019年の件数の伸びが顕著。最も多く取り上げられたのは、2019年10月の週刊文春（3件）・週刊新潮（3件）。

研究結果

図4 一事例を繰り返し扱った記事

| | 時期 | 報道回数 | |
|---|--------------|--------|-----|
| 1 | 小学校教員間のいじめ事件 | 2019年秋 | 11回 |
| 2 | 中学生のいじめ自死事件 | 2015年夏 | 6回 |

■ は中学生のいじめ自死事件報道を示す。
■ は小学校教員間のいじめ事件報道を示す。
2019年12月の報道回数は1回。



考察

- ・ いじめ報道は、年や月によって大きく違い報道量は一定していなかった。いじめ関連記事の内容は事件や書評やルポなど多様で、アメリカや韓国など国外のいじめの記事も4件みられた。いじめの予防や対策まで踏み込んだ専門性の高い記事は34件であったが、具体的な相談窓口の情報が記載されている記事は極めて少なかった。

- ・ 期間中、14件のいじめ体験談が語られていたが、危機を乗り越えた体験を具体的に継続して報道することが大切である。また、いじめ事件や事実だけを伝えるのではなくいじめの防止策などの具体的な情報提供がいじめ防止につながると考えられる。

文献

藤原幸子(2019)「メディアにおけるいじめ報道の実態調査と分析」日本社会福祉学会第67回秋季大会プログラム要旨集, 329-330.